

伊東市総合計画 第4回 未来ビジョン会議

グループディスカッション <結果概要>

〈開催日時〉 令和6年9月26日（木） 18:30～20:00

〈会場〉 伊東市役所8階大会議室

〈参加者〉 未来ビジョン会議委員16人

〈テーマ〉 伊東市の今について考える

〈意見交換の内容〉

テーマ「伊東市の今について考える」では、下記にある各グループのテーマにあわせて、**地域・社会の課題、対象者・顧客が抱える課題、自分自身の今までの姿勢（考え・行動）**について話し合った後に、それに起因する**根本原因**をまとめた。概要については次頁のとおり。（意見のまとめ方については、各グループのやり方に合わせているため、グループごとに異なります。）

グループ1	グループ2	グループ3
テーマ1 危機管理・自然・環境・都市	テーマ2 観光・産業・交流	テーマ3 医療・健康・福祉・教育・歴史・文化
上原 啓慎	佐藤 幸一	田畑 まどか
小倉 純一	磯川 卓郎	八木澤 恵子
辻 駿太	青木 心海	吉田 勇輝
濱崎 優翔	森 杏菜	片桐 基至
伊藤 宮之	勝又 千加	鈴木 奈都菜
岡田 圭祐（欠席）	大橋 優樹（欠席）	平岡 愛菜

敬称略

■テーマ 1 危機管理

○地域・社会の課題

- ・ 消防団員が不足している。
- ・ 災害時の受け入れ可能な病院が少ない。
- ・ 交通インフラが脆弱、災害時に混乱してしまう。
- ・ 地震・津波が起きたとき、市民だけでなく、観光客に対して避難方法をどうやって周知していくか
- ・ 道路が分断された際の物資の輸送方法（海上輸送）
- ・ 商店街の人たちの避難誘導

○対象者・顧客が抱える課題 潜在ニーズ

- ・ 交通インフラが寸断された際の最低限の生活維持
- ・ 防災教育に係るバイアス（先入観）が働いている。

○自分自身のいままでの姿勢 （考え・行動）

- ・ 物資の輸送方法や災害時にどうやって生活維持するのか意識できていない。
- ・ 災害に対しての個人的な備えが必要
- ・ ハザードマップを確認できていない。

○根本原因

- ・ 本市の地勢上、災害が同時に起こりやすい。
- ・ 防災に対する教育の機会が少ない。



■テーマ 2 都市

○地域・社会の課題

- ・ 空き家が活用されていない。
- ・ 空き家バンクも活用されていない。
- ・ バスの本数が少ない。
- ・ タバコなど、ごみのポイ捨てが多い。
(喫煙 BOX 等の設置がない。)
- ・ 道が狭い、一方通行が多い。
- ・ 駅前の渋滞解消
- ・ 中心市街地における空地の活用の仕方
- ・ 歩行者の滞留空間、連続性のある回遊動線が市街地に少ない。
- ・ 駅前など駐車場が少ない。

○対象者・顧客が抱える課題 潜在ニーズ

- ・ ごみ箱が少ない。
- ・ タバコを吸う場所がない。
- ・ 喫煙可能な場所と不可能な場所がわからない。

○自分自身のいままでの姿勢 (考え・行動)

- ・ 課題を認識しつつも、何もできていない。
- ・ 伊豆にいなくても県外にいけばいい。
- ・ 公共交通機関を使い、市内だけでなく他地域のまち中を歩いてきた。

○根本原因

- ・ 空き家に対して理解している人が少ない。
- ・ 喫煙可能な場所と不可能な場所を理解している人が少ない。



グループ2 観光、産業、交流

■テーマ 観光

○地域・社会の課題

- ・ 商店街のシャッターが寂しい。
- ・ 空き家が多い。
- ・ 特産物が少ない。
- ・ 気持ちのいい接客が少ない。
- ・ 駅から商店街までが少し遠い。
- ・ 観光客が特定の場所に集まる。
- ・ 夜のまちが暗い。
- ・ 市民からの発信が少ない。
- ・ 資源を把握していない。

○対象者・顧客が抱える課題 潜在ニーズ

- ・ 夏が終わるとイベントが少ない。
- ・ 伊東市ならではのフォトスポットがほしい。
- ・ 観光客の目的が不明瞭
- ・ 交通の便が悪い。
- ・ 県外の伊東市の認知度が低い。
- ・ 時間をつぶす場所が少ない。
- ・ 観光客が何にお金を落としてもらいたいのか不明確

○自分自身のいままでの姿勢 (考え・行動)

- ・ 自分でまちを歩いていない。
- ・ おすすめスポットを把握していない。
- ・ 思っても、行動できていない。
- ・ どんな店があるのか分からない。
- ・ 伊東で遊ぶことが少ない。

○根本原因

- ・ 市民の興味が無い。
- ・ 他人事だと思っている。
- ・ まちのことを知ろうとしていない。
- ・ 危機感がない、楽観視している。



■テーマ1 教育

○地域・社会の課題

- ・電車とバスの通学費の補助が限られている。
- ・習い事をできるところが少ない。
- ・将来的に伊東市に戻ってくる人が少ない。
- ・豊かで美しい自然があるのに、活かしていない。
- ・伊東の歴史がよく学べていない。誇りが持てない。

○対象者・顧客が抱える課題
潜在ニーズ

- ・子育てに係る補助が少ない。
- ・子どもと親が遊べる場所がほしい。
- ・高校合併に伴い、合併前の学校ごとに温度差がある。
- ・学べる場が多くない。
- ・給食に力をいれてほしい。幼稚園給食をしてほしい。
- ・補助額を下げたとしても、その対象者を広げてほしい。
- ・子どもの頃から伊東についてもっと学び、伊東を好きになりたい。



○自分自身のいままでの姿勢
(考え・行動)

- ・伊東の自然に触れるため、子どもたちと海や川にいった。その良さを地元の人に伝えても、「伊東には何もない」と言う人が多い。
- ・伊東のことを知ろうとしていなかった。
- ・自分たちの住んでいるまち基準でしか考えられていなかった。
- ・公園で遊ぶために他の市にいかねばならない。
- ・進学先の選択肢がなかった。

○根本原因

- ・伊東のことを知る、学ぶ機会（場所）少ない。
- ・教育環境において、選択できる幅がない。
- ・困ったときに頼れる環境がない。
- ・他市から来た人に対して、思いやりがない。



■テーマ2 福祉・医療・健康（高齢者と社会のつながり）

○地域・社会の課題

- ・ 高齢者の孤立化
- ・ 高齢者は収入を得る方法がない。
- ・ 高齢者が家に引きこもりがちになり新しいことに参加しない。
- ・ 身寄りなし高齢者が多い。
- ・ 仕事を退職した後の趣味活動の場

○根本原因

- ・ コミュニティーの絆が薄くなっている。
（気をきかせて手伝ってくれる近所の人が少ない。）
- ・ もともと社会とのつながりが薄い。
（独居が多い。）
- ・ 金銭的に余裕がなくなっており、精神的に不安定になっている。

○対象者・顧客が抱える課題

潜在ニーズ

- ・ 社会とのつながりが弱い。
- ・ 免許返納により、移動手段がない。
- ・ 入院や入所する際の身元保証人がいない。
- ・ 亡くなった後の問題
- ・ 高齢者のペット問題
- ・ 社会参加を求めている人、求めている人がいる。



○自分自身のいままでの姿勢

（考え・行動）

- ・ 仕事では関わっていても、プライベートでは他人事
- ・ 専門機関へつなぐよう心がけ
- ・ 成年後見制度の普及・啓発
- ・ 赤ちゃんからシニア世代が集える居場所の設置で異世代間の交流を深める。

